

南の谷地産にして、搬出の便あるに因る。同地一帯の森林は、松多く、支那人は新疆第一と稱す。

平地に於ける梧桐林、榆樹林は、多く南路の路傍に在りて延長我約二里より五里に及ぶ。尙ほ瑪喇巴什の西方には、幅三四里、長さ十數里の間、悉く梧桐林を爲すもの有り。

楊柳は到る處の河畔、部落、路傍の並木として植う。此の樹は最も能く土地に適し、生長最も迅速にして、高さ八十尺内外に達する巨大なるもの多し。

又天山山脈には、楓樹最も能く生長す。米人某嘗て塔爾奇山路に於て、楓樹の繁茂するを見て嘆賞し、米國を除きては、他に此の如き類を見ずと云へりと。

紅柳は回語「ユルグン」と稱し、我國の柳の如く概ね其の高さ七八尺あり。葉は絲に似て垂下し、頗る柔にして少許の鹽分を含む、故に駱駝は好んでこれを食す。枝幹は圓くして屈節多く、質甚だ堅く、鋸斧も尙ほ斫るべからず。然れども之を折るは容易なり。生木能く焼燃し、焚けば香氣を發す。土人の言に依れば、此の木は發育甚だ遲緩にして、八百年の星霜を経るに非ざれば、一丈に達する能はずと。

梧桐榆樹林

楊柳

楓樹

紅柳